

株式会社アルム



シンガポール・マレーシアの透析クリニックのDXに資するソリューションの開発・導入

本事業の目的

- シンガポール並びにマレーシアにおける透析クリニックDXに資するソリューションの開発・導入を以下の通り行う。
- ①クリニック内コミュニケーションシステム (Join) による、看護師間、医師-看護師間の情報共有迅速化・業務効率化
- ②医師-患者間のコミュニケーションを活性化するシステム (Team) の開発・実証
- ③透析履歴を患者へ共有、フィードバックする機能 (MySOS) 並びにパーソナルヘルスレコード (PHR) の導入

現地企業や政府との協力・連携

- DaVita Care Pte. Ltd.(以下DaVita)をパートナーとして本事業を推進した。DaVitaはDaVita Inc.(米国を本拠地とし11ヶ国で透析クリニックを中心としたビジネスを展開している透析クリニック業界最大手の一社)と三井物産が株主であり、傘下シンガポール法人とマレーシア法人を通じてそれぞれの国で透析クリニックを運営している。
- AllmはDaVitaと共に、Allmが提供するJoinの導入/運用、看護師/医者/本社社員の満足度調査並びにアンケート実施、またそれから得られたフィードバックに対してAllm Inc. とAllm SEAで改善提案並びに改善作業を行った。

現地の経済・社会課題

- 高所得化とそれに伴う喫煙や不健康な食事、運動不足、過度の飲酒等が因子となる糖尿病や高血圧による腎臓機能障害のケースは世界的に増加傾向であり、透析市場は年々拡大傾向にある。また、腎臓移植に比べ合併症等の身体的負担少ないことから、近年では人工透析治療が選ばれるケースが増えている。
- シンガポールの死因ランキング(2021年)は、1位ががん(26.4%) 2位が虚血性心疾患(20.1%)、3位が肺炎(18.4%)、マレーシアの死因ランキング(2021年)においては1位Covid-19関連疾患(19.8%)、2位が虚血性心疾患(13.7%)、3位が肺炎(11.1%)であり、シンガポール、マレーシア両国において生活習慣が主な原因とされる虚血性心疾患が死因上位となっている。
- シンガポールとマレーシアは糖尿病患者数並びに糖尿病由来の透析へ移行する患者割合が世界平均より高いことから、透析サービスのニーズが年々高まっている。一方で1)透析クリニックの事務効率化が進んでおらず、医療従事者の事務負担過多が恒常化しており、離職率が高止まりしていること、2)透析患者がスケジュールされた食生活、運動、通院を遵守しないこと、3)医療従事者と透析患者のエンゲージメントが低く、情報共有されずに治療満足度が低いことが、サービスの質向上のボトルネックとなっている。

株式会社アルム



シンガポール・マレーシアの透析クリニックのDXに資するソリューションの開発・導入

実証した内容

■ ①(クリニック内コミュニケーションシステム (Join) による、看護師間、医師-看護師間の情報共有迅速化・業務効率化)に関してはDaVita SingaporeとDaVita Malaysia両方の施設でJoinの導入/運用が完了している。また、ユーザーエクスペリエンスを測る為にDaVita Malaysiaにおいて医者、看護師、本社スタッフに対してアンケートを実施。特に看護師においては80%以上の方が満足している旨回答しており、一定のユーザー満足度を確認した。5段階評価での質問においても看護師より使いやすさと機能性でそれぞれ4.2の高評価を得ており、看護師間の情報共有迅速化、業務効率化という点では一定程度実現できた。

■ ②(医師-患者間のコミュニケーションを活性化するシステム (Team) の開発・実証)、③(透析履歴を患者へ共有、フィードバックする機能 (MySOS) 並びにパーソナルヘルスレコード (PHR) の導入)に関しては、Teamの英語化、導入に際しての開発工数の試算を行うとともに、Allmが提供する簡易患者情報入力システムJoin Formsによる事務効率化の試みを行った。また、本事業パートナーの意向とMySOS仕様の間でのギャップがあることを確認した。

事業の成果/今後の予定

■ DaVita Malaysiaの運営する40施設の内20施設とマレーシア本社、DaVita Singaporeの運営する4施設の内3施設とシンガポール本社でJoinの導入完了、運用を開始している。また、左記アンケートの結果の通り、満足度、機能性、使いやすさでそれぞれ高評価を頂いている。

■事業期間中、ネットワークの最適化(ログインからメッセージリストの表示並びに新しいメッセージの表示速度を大幅に改善)を行うとともに、通知のセッティング、ソフトウェアのアップデートを周知徹底、Joinのセキュリティー堅牢性等のベネフィットを訴求することにより、ユーザー満足度を測る際のアンケート実施の際に指摘のあった①通知機能が正しく機能しない、②ログインの操作性が悪い(ログインが正しくできない)③WhatsApp、Facebook Messengerのほうが使いやすいとの事項に対応している。

■本事業を通じて得たJoin導入、運営の際の知見を東南アジアの他クリニック、病院への当社サービス提案の際に活用したい。また、今回提供できなかったサービス(Team、MySOS)に関しても、東南アジア医療機関でのニーズを改めて整理した上で、提供できるベネフィットを改めて訴求できるよう戦略再構築を行う方針である。



Join

Team

MySOS